

水産技術センター・研究課題事後評価表
山梨県水産技術センター評価委員会(2009.2.4)

試験・研究課題名：溪流魚在来個体群生息域の推定
 大課題名：河川湖沼漁業の振興
 小課題名：資源管理技術の開発
 細目課題名：溪流魚在来個体群生息調査
 担当者名：研究員 坪井 潤一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	県内全域を詳細に調査しており、研究課題の達成度は高い。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	本結果は従来の放流事業の見直しを迫るものであり、在来魚の種苗生産やゾーニングといった新たな資源管理の構築に貢献するものである。
3 研究の発展性	4 / 5	地域の遺伝資源を将来に残すためにも、今後の発展に期待したい。また、支流間の遺伝子交流といった新たな保全策についても是非検討していただきたい。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	生物多様性保全は、国民・県民の大きな課題であり、在来魚について早くから取り組んでいた本研究課題は、極めて重要であり、妥当性も高い。
総合評価	4.8 / 5	山梨県としても貴重な情報であるばかりか、他県と比較しても、先進的な研究事例である。今後は調査のみで終わらせることなく、成果の発信と普及に努めていただきたい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

今回得られた結果を更に詳細に分析し、成果の発信と関係者への普及・指導を行いたい。